

コロナ禍のほっとニュース特集

新宿御苑は徳川家康の家臣・内藤清成の江戸屋敷がそのルーツです。明治五年に内藤新宿試験場を開設し、内外の動植物を集め育成・種苗試験をして各府県へ頒布したことに始まり、後に宮内省の植物御苑として温室園芸、御料の生産もしました。

一九〇〇年初頭には内外交流のために整形式庭園と風景式庭園からなる複合庭園への改築が決まりました。フランスが一八

「私は定年後、新宿御苑の花を見守り育て、また苑内のガイドのボランティア活動に長年関わってきました」



永野 信

ベル・エポック時代の庭園 新宿御苑

事業部長 永野 信

七四年に第三共和制を達成し、繁栄した芸術文化の中で生まれた庭園様式です。第一次世界大戦までの短い間、華やかなアーノ・ヌーヴォー、印象派絵画、カンカン、オペラハウス、エッフェル塔の建立などベル・エポックとも言われるパリの黄金時代でした。

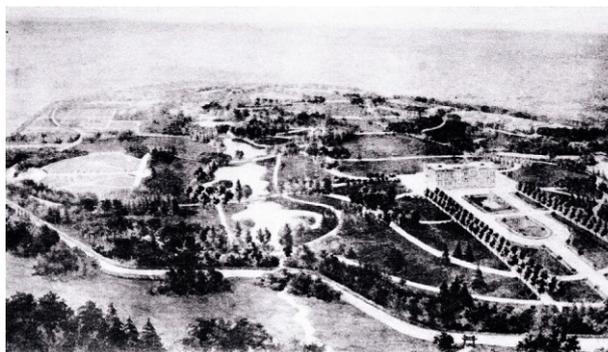
造園家E・アンドレ、H・マルチネ師弟は饗宴殿等を媒体として整形式庭園と風景式庭園の空間を融合・組み合わせ、複合庭園の様式を編み出しました。曲線の園路と池、高中低木、広い芝生の植栽により各所にピスター(見透視線)を設ける技法です。

御苑の福羽逸人局長は訪欧を重ね、マルチネと鳥瞰図、設計図を作成するとともにE・アンドレの著書「庭園技法」を手元に、明治三四年に着工、三九年に竣

工しました。しかし鳥瞰図の中に描かれた饗宴殿は明治天皇の聖慮により建立しないまま今日に至り、当時の財政事情が窺えます。

御苑には他に明治三四年に鴨場を改築した回遊式日本庭園があり、近くの里山風な「母と子の森」の江戸時代からのハクモクレンや明治五年渡来の落羽松の巨木が見所です。

今日、五八haの新宿御苑の外周林は江戸時代からの銀杏、榎、椎などの巨木が囲み、複合庭園には東西七〇〇m伸びるピスターに一五〇年を超える外来種のユリノキ、ヒマラヤスギ、タイサンボク、プ



アンリ・マルチネ《新宿御苑鳥瞰図》1901年頃
出展：椎原兵市 現代庭園図説刊行会 1924年

ラタナスなどが遠近法に植栽され、その間に芝広場と中低木のサクラやカエデが季節ごとに色彩を変えています。

日毎に高層化するビル群を借景として威風を誇る巨木達を芝生広場からご覧下さい。

ラタナスなどが遠近法に植栽され、その間に芝広場と中低木のサクラやカエデが季節ごとに色彩を変えています。

日毎に高層化するビル群を借景として威風を誇る巨木達を芝生広場からご覧下さい。

新日美選抜小品展のご案内 実行委員長 倉田 遼一

2022年新日美選抜小品展は5月に開催されることになりました。展示作品は、2021年第45回記念新日美展受賞者、委員、支部長、支部推薦者の中から選ばれた精鋭作品で販売も行います。有楽町、銀座方面にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

会期 2022年5月29日(日)～6月4日(土)
会場 東京交通会館 地下1階 画廊シルバーサロンA
時間 11:30～17:00 (初日12:00～、最終日～15:00)

コロナの影響も考えられますので、ご来場の前に本協会ホームページでご確認をお願いいたします。

本小品展に関するお問い合わせは倉田まで (ryo3@hi-ho.ne.jp)

回 会 報

178号

新日本美術協会

事務局

千葉県柏市大津ヶ丘
3-17-17-401
森屋治三方
Tel.04-7191-6760

編集委員

石原 修
早田美智子
篠 光定
湯澤朱美

原稿常時募集

次号令和4年8月予定